

目次

[概要](#)
[前提条件](#)
[要件](#)
[使用するコンポーネント](#)
[表記法](#)
[背景説明](#)
[問題](#)
[原因](#)
[解決策](#)
[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ロガーのロガー プロセスの反復的なアサーションの理由について説明し、Intelligent Contact Management (ICM) または IP Contact Center (IPCC) Enterprise 環境でのソリューションを提供します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ICM
- Microsoft SQL Server

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 4.5.x および それ 以降
- Microsoft SQL Server 6.5 および 7.0
- Microsoft SQL 2000 サーバ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

中央データベースだけ Config_Message_Log 表が含まれています。 Config_Message_Log 表は設

定メッセージを保存します。表はこの 5 つのフィールドが含まれています:

1. **RecoveryKey**: ICM ソフトウェアは仮想 な時間をトラッキングするのに RecoveryKey フィールド値を内部で使用します。
2. **LogOperation**: LogOperation フィールドはコンフィギュレーション変更の種類を示します。たとえば、「追加して下さい」または「アップデートして下さい」。
3. **TableName**: TableName フィールドはコンフィギュレーション変更が影響を与える表の名前を示します。
4. **DateTime**: 日時フィールドはロガーがー組のメッセージを記録 する 日時を表示する。
5. **ConfigMessage**: ConfigMessage フィールドはトランザクションですべての設定メッセージが含まれています。

問題

ロガーの lgr かロガープロセスは常にアサートします。すなわち、ロガープロセスは開始し、失敗し、繰り返し再起動します。

対応した ログはこのエラーメッセージが含まれています:

ロガーの lgr かロガープロセスを表示するために、関連したプロセス ウィンドウを表示できます。また、それぞれプロセス ログを調べるのに [Dumplog ユーティリティ](#) を使用して下さい。

原因

Config_Message_Log 空表は問題の根本的な原因です。Config_Message_Log 表が空であるかどうか確かめるために、この SQL コマンドを発行して下さい:

Config_Message_Log 表はおそらくコンフィギュレーションデータをエクスポートするために Intelligent Contact Management Database Administration (ICMDBA) を実行するとき先端を切った様な Config メッセージ ログ チェックボックスを選択するので No 列が含まれています。

解決策

この問題を解決するために、この SQL コマンドを発行できます:

この SQL コマンドは Config_Message_Log 表に列を追加します。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)